



居住地校交流について



H29 比内支援学校 地域支援部



共に育ち 共に学ぶ

～交流及び共同学習を進めています～



国、県ともに障害のある子どもたちと障害のない子どもたちとの交流及び共同学習を推進しています。交流及び共同学習では、障害のある子どもたちと障害のない子どもたちが共に活動する機会を通して、互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶことができます。

平成28年度 秋田県教育委員会発行パンフレットより抜粋

☆交流の様子（「居住地校交流だより（前期号・後期号）」でお知らせしました。）

H28年度は小学部8校14回、中学部3校6回実施しました。



本校では、地域の子どもとして、

地域の子どもたちと自然にふれ合う関係を大切にしています。

1 ねらい

- ・小・中学校での生活や学習を体験することで、地域の仲間と一緒に過ごす喜びや楽しさを味わいます。
- ・将来、生活基盤となる地域での、社会参加のきっかけづくりとします。



2 交流の形態

- ・本校の子どもたちの興味関心や得意面を生かし、小・中学校の学習活動の中で参加しやすい学習や行事に参加します。事前に紹介カードや招待状を送り合うなど、お互いの理解や当日に関わりの場面が増えるように両校で工夫しています。

3 進め方

- ・本校の子どもと保護者の希望を把握し、希望する小・中学校に連絡します。（詳しくは裏面）

4 参加の仕方

- ・保護者と一緒に交流校へ登下校します。交流先では、学級担任と一緒に授業に参加します。

居住地校交流に、ご理解とご協力をお願いします。